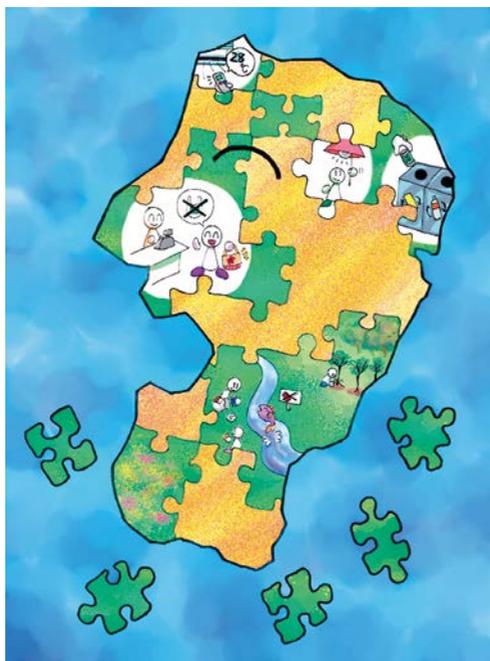




温暖化防止活動事例収集・発信事業

「エコカップ やまがた2023」 ～カーボンニュートラルやまがたを目指して～

活動事例集



庄司萌梨絵さんの作品

～「エコカップやまがた2023」とは（趣旨）～

山形県内各地域の温暖化防止や再生可能エネルギーなどの活動事例を収集し、活動事例発表会や冊子等で広く情報発信することで、地域での地球温暖化防止活動や脱炭素社会づくりを一層推進することを目的とし実施しています。

この事業は、環境省補助事業（地域における地球温暖化防止活動促進事業）を活用し実施しています。

御 礼

「エコカップやまがた2023」実行委員会

委員長 佐藤 五郎



2024年元日、誠に痛ましい自然災害が又もや発生しました。令和6年能登半島地震は活断層による群発地震であり、災害にあわれた方々には衷心よりお見舞い申し上げます。一方、温暖化現象による自然災害は世界各地で発生しています。その原因が人類活動による点で地震活動とは大きく異なりますが、大雨や干ばつ、熱波等の異常気象により甚大な被害が発生しています。ちなみに世界気象機関（WMO）は、2023年の世界平均気温が産業革命前より1.45度前後上昇したと発表しました。この値はパリ協定の努力目標1.5度に迫るものであり一層深刻さを増しています。

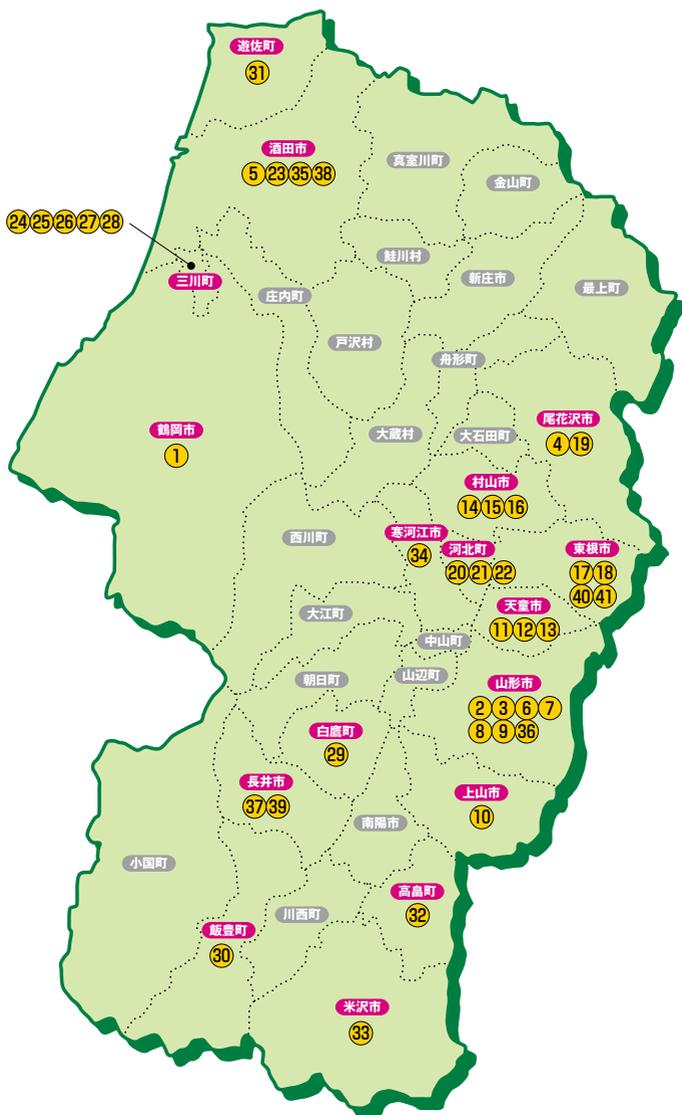
このような状況の中で「エコカップやまがた2023」は17年連続の開催となり、今回も県内各地から41件の活動事例が寄せられました。しかも数年にわたって工夫を重ねながら二酸化炭素排出削減に努力された事例が多く見られました。温暖化は地球表層（大気、海洋、地表）の異常現象であり長期間に及ぶ温暖化ガス排出の結果です。したがって解決に向けても継続した努力が必要となり、皆様方の弛まぬ努力に深く敬意を表します。最終的には7件の事例をプレゼンして頂き、大賞に株式会社渡会電気土木様の「地域資源のリサイクル活用と再生可能エネルギーの普及と開発」を選出しました。その活動内容は間伐材の燃料用ペレットおよび発電用チップの生産、小型風力発電機の実証試験、太陽光発電設備（蓄電池）等の活用に限ることなく地元の行政や自治会と大規模災害時の避難受け入れ協定を結んでいることが高く評価されました。今後の発展を期待するとともに報告いただいた皆様方に重ねて感謝申し上げます。

【「エコカップ やまがた2023」 実行委員会】

<委員長> 佐藤 五郎 (NPO法人 最上川リバーツーリズムネットワーク 代表理事)
小谷 卓 (鶴岡工業高等専門学校 名誉教授)
野村健太郎 (株式会社山形新聞社 論説委員)
菅原 弘紀 (NPO法人 山形県自動車公益センター 顧問)
遠藤 和之 (山形県環境エネルギー部環境企画課長
(兼)カーボンニュートラル・GX戦略室長)

エントリー団体マップ

～どこの市町村で活動しているのかな？～



※マップの番号と団体名は、3・4ページに記載していますので、ご覧下さい。

目次

実行委員長あいさつ、実行委員の紹介	1
エントリー団体マップ	2
目次	3～4
活動事例発表会について	5
脱炭素チャレンジカップ2024	6
活動紹介	7～25
*各団体のページは、以下の一覧をご覧ください。	
活動事例発表会の様子	25～26
共催団体の活動の紹介	27～28
過去の「エコカップやまがた」大賞受賞団体	29～30

【活動内容一覧（全活動団体紹介）】

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ番号	ページ
発表 (受賞) 団体	地域資源のリサイクル活用と再生可能エネルギーの普及と開発	株式会社渡会電気土木	鶴岡市	①	7
	ネッツ セーフティー&エコドライブ教室	ネッツトヨタ山形株式会社	山形市	②	8
	超小型風車におけるブレード形状最適化の研究	山形県立山形工業高等学校 機械技術科	山形市	③	9
	雪と温泉で地酒をもっと美味しく 【県民参加型再生可能エネルギー事業6号】	農事組合法人ドメーヌ楽酒 楽粋（らくしゅらくすい）	尾花沢市	④	10
	廃棄されたシートベルト、エアバッグを利活用して海の生きもの増殖と要介護者の防災用品を製作する事業	特定非営利活動法人 みなと研究会	酒田市	⑤	11
	脱炭素社会を実現する「木造都市 [®] 」づくり	株式会社シェルター	山形市	⑥	12
	雪と温泉で発電	山形県立東高等学校 探究部 (雪と温泉で発電チーム)	山形市	⑦	13
行政・ 地球温暖化 対策地域協議会	「カーボンニュートラル」入門セミナー	山形市環境課	山形市	⑧	14
	環境や省エネルギーに配慮した取り組み	山形市消防本部	山形市	⑨	14
	「親子で学ぼう！エネルギー回収施設見学とエコ工作&交通安全教室」	上山市地球温暖化対策地域協議会	上山市	⑩	14
	親子ふれあい環境教室	天童市	天童市	⑪	15
	天童市太陽光発電システム設置支援事業費補助金	天童市	天童市	⑫	15
	キャンドルナイト in てんどう2022	天童市地球温暖化対策協議会	天童市	⑬	15
	公共施設グリーンカーテン設置事業	村山市	村山市	⑭	16
太陽光発電システム等設置補助金	村山市	村山市	⑮	16	

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ 番号	ページ
行政・ 地球温 暖化対 策地 域協 議会	木質バイオマス利用拡大支援事業	村山市	村山市	⑮	16
	環境ISOの取り組み	東根市	東根市	⑰	17
	環境週間ひがしね	東根市	東根市	⑱	17
	尾花沢市再生可能エネルギー導入事業費補助金	尾花沢市	尾花沢市	⑲	17
	環境ポスターコンクールの開催	河北町役場	河北町	⑳	18
	再生可能エネルギー設備及び省エネルギー設備導入事業費補助事業	河北町役場	河北町	㉑	18
	生ごみ処理機購入設置事業補助事業	河北町役場	河北町	㉒	18
	緑のカーテン事業	酒田市	酒田市	㉓	19
	廃食用油（植物性）の集団回収	三川町、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	㉔	19
	住民参加型「空き缶回収事業」	三川町、各小学校、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	㉕	19
	町内会等集団資源回収、資源リサイクルステーション、資源ポストによる資源リサイクルの推進	三川町、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	㉖	20
	町民へのアサガオ種の配付及び公共施設、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置	三川町、みかわ保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	㉗	20
	住宅用太陽光発電システム設置補助	三川町	三川町	㉘	20
ゼロカーボンシティ宣言後の取り組み	白鷹町	白鷹町	㉙	21	
環境に優しいまちづくりの推進 - 再生可能エネルギーによる域内循環社会の構築 -	飯豊町	飯豊町	㉚	21	
N P O 団 体 等	子ども省エネ体験教室「石けんづくり教室」	JA庄内みどり遊佐女性部「石けん研究会」	遊佐町	㉛	21
	GHG 排出量（scope 1～3）検証による地球温暖化防止への取り組み	ASEジャパン株式会社	高島町	㉜	22
	家庭で出来るエコアイデアを募集・表彰する「エコアクション大賞」を実施	株式会社エービーエム	米沢市	㉝	22
	使用済み食品トレーの回収と選別・リサイクル	株式会社エフビコ	寒河江市	㉞	22
	風力発電事業を通じた環境保全活動	加藤総業株式会社	酒田市	㉟	23
	女性用事務服の無料回収プロジェクト	北日本白衣山形株式会社	山形市	㊱	23
	エコアクション21を中心とした環境活動	有限会社三立	長井市	㊲	23
	庄内エコ米プロジェクト	株式会社トー屋	酒田市	㊳	24
	資源削減の取り組み	株式会社マツキコーポレーション	長井市	㊴	24
	ジオパークを満喫 in 遊佐町 ～ 初級編 ～	山形中央観光株式会社	東根市	㊵	24
	環境製品の開発と普及活動および太陽光発電事業	株式会社山本製作所	東根市	㊶	25

「エコカップやまがた2023 ～カーボンニュートルやまがたを目指して～」 活動事例発表会について

令和5年10月14日に開催した活動事例発表会では、報告いただいた全41件の取組みの中から実行委員会より推薦された7団体が事例の発表を行いました。

発表団体のうち、「株式会社渡会電気土木」に『エコカップやまがた大賞』が、「ネットヨタ山形株式会社」、「山形県立山形工業高等学校 機械技術科」の2団体に『エコカップやまがた実行委員会特別賞』が贈られました。

【発表団体】

◆農事組合法人ドメニュー楽酒楽粋(らくしゅらくすい)

「雪と温泉で地酒をもっと美味しく【県民参加型再生可能エネルギー事業6号】」

◆特定非営利活動法人 みなと研究会

「廃棄されたシートベルト、エアバッグを利活用して海の生きもの増殖と要介護者の防災用品を製作する事業」

◆株式会社シェルター

「脱炭素社会を実現する『木造都市[®]』づくり」

◆ネットヨタ山形株式会社

「ネット セーフティー&エコドライブ教室」

◆株式会社渡会電気土木

「地域資源のリサイクル活用と再生可能エネルギーの普及と開発」

◆山形県立山形工業高等学校 機械技術科

「超小型風車におけるブレード形状最適化の研究」

◆山形県立山形東高等学校 探究部(雪と温泉で発電チーム)

「雪と温泉で発電」



株式会社渡会電気土木の発表



集合写真

脱炭素チャレンジカップ2024

株式会社渡会電気土木（鶴岡市）

「地域資源のリサイクル活用と 再生可能エネルギーの普及と開発」

【優秀賞】受賞

2024年2月6日に、「脱炭素チャレンジカップ2024」が東京都で開催されました。

「脱炭素チャレンジカップ」は、全国の市民・企業・学校・自治体などの多様な主体が取り組む、地域や団体の特性に応じた個性的な温暖化防止の活動を、発表を通じて、取組のノウハウや情報を互いに共有し、さらなる活動に向けて連携の輪を広げていくものです。

全国からエントリーされた団体のうち、書類・プレゼンテーション審査による厳しい審査にて選び抜かれた脱炭素社会につながる活動を実践しているファイナリストが集結し、プレゼンテーションと受賞団体の発表・講評が行われました。

山形県からは、エコカップやまがた大賞を受賞した株式会社渡会電気土木、一般応募からファイナリストに選ばれた山形大学農学部バイオマス資源学研究室、株式会社シェルターの3団体が出場し、活動を全国へアピールしました。

審査の結果、株式会社渡会電気土木は「優秀賞」を受賞し、山形大学農学部バイオマス資源学研究室は「セブン-イレブン記念財団最優秀地域活性化賞」、株式会社シェルターは「オルタナ最優秀ストーリー賞」を受賞しました。



「脱炭素チャレンジカップ2024」の詳細はホームページ
(<https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/>)
にてご覧いただけます。

脱炭素チャレンジカップ

検索



エコカップ やまがた 大賞

鶴岡市

地域資源のリサイクル活用と再生可能エネルギーの普及と開発

株式会社渡会電気土木 [マップ番号: ①]

当社は再生可能エネルギーの生産を通して地球温暖化防止に取り組んでいます。主要な取り組みとして、庄内地方のクロマツ、スギの間伐材を原料とした燃料用木質ペレットを、山形県内を中心に年間約4,000トン供給しています。

また、庄内地域を中心に発生する針葉樹、広葉樹の間伐材を原料とした発電用木質チップを年間約15,000トン生産しています。

小型風力発電機の実証試験を行っています。直径5.5mの風力発電機で一般家庭2世帯分以上の電力を発生させることが可能で、FITを活用し電力会社に供給しています。

工場施設に蓄電池を備えた太陽光発電設備を整備し、最大発電能力150kWhの太陽光パネルを設置しています。大規模災害時の一時的な避難受け入れに関する協定を鶴岡市と地区自治会と三者で結んでいます。電力は工場内の使用電力の一部として活用していますが、避難所として開設する際は蓄電池により停電時でも3日間程度の運営が可能となっています。





エコカップ やまがた 実行委員会特別賞

山形市

ネット セーフティー&エコドライブ教室

ネットヨタ山形株式会社 [マップ番号: ②]

お客さまを店舗にご招待し、エコドライブの講習を行い、実際に車を運転してもらい、エコドライブを体験してもらっています。

具体的なプログラムは、1回目試乗では普段通りの運転で燃費を測定。それから、座学で講習を受け、2回目試乗ではエコドライブを実践して燃費を測定します。1回目と2回目を比較することで、エコドライブの良さを体感してもらっています。併せて、トヨタ車の先進安全機能もご紹介し、同時に体感してもらっています。

【当社の想い】

「SAFETY&ECO DRIVE」の輪を広げ、環境保全活動を進めるとともに、先進安全機能を知ってもらい、交通死傷者ゼロの社会の実現を目指しております。

【活動期間】

2014年からこの活動を始め、2020年度はコロナ禍で開催を中止したものの、2021年度10月より3店舗で再開し、2022年度は全11店舗で開催いたしました。





山形市

超小型風車における ブレード形状最適化の研究

山形県立山形工業高等学校 機械技術科 [マップ番号: ③]

昨今の電力需要は増加傾向にある中、電気料金の高騰が深刻な問題となっている。電力の供給元についても約半分が化石燃料に依存している中、風力を利用した再生可能エネルギーを活用し、カーボンニュートラルの実現に向けて何かできないかと考えた。風力発電は大型で環境への影響も大きい上、設置場所が限定されるなどの問題がある。そこでエアコンの室外機程度の大きさを想定し、直径1000mm以下のマイクロ風車が実用域で稼働できれば、設置場所や環境にとらわれずエネルギーの供給源になり得るのではないかと考えた。そのため、マイクロ風車におけるブレードの性能の研究を行い直径700mm程度のブレードの最適形状を研究している。

県内企業などとも連携し、風力発電の設計を行い、試作品を作成して、模擬実験やデータ収集を行った。今後も実験を重ね、実証に向けて活動し、山形県のカーボンニュートラルの実現に向けて動いていきたい。





エコカップ やまがた賞

尾花沢市

雪と温泉で地酒をもっと美味しく 【県民参加型再生可能エネルギー事業6号】

農事組合法人ドメーヌ楽酒楽粋(らくしゅらくすい) [マップ番号: ④]

酒米の種もみ消毒は銀山温泉の「温泉」を活用。温暖化の気温上昇を逆にとり、東北の豪雪地では栽培不可能と言われた酒米の王「山田錦」一等米栽培に成功。酒作りの廃棄物(米ぬかや稲藁)、捨てられる酒粕などを活用した土壌づくりを行い有機肥料、低農薬の地球にやさしい農業をめざしている。

組合活動は2016年から始まったが、地酒を楽しむ「楽酒楽酔の会」として20年前より山形の美酒を楽しむ活動を長年続けており、昨年は尾花沢産山田錦100%で醸した純米吟醸酒「楽 gaku」と特別純米酒「雪々山々(ゆきゆきやまやま)」の2ブランドを新たに発表。道路除雪の「捨てる雪」を利用した雪蔵を利用して、雪熟成を行い、7月7日に発表。天気を味方にして極限までローコストな雪蔵づくりを可能にした。3月の雪蔵づくり、6月末には夏の雪を楽しむ体験ツアー等も地元旅行会社と連携して行い、やっかいものの「雪」をとことん楽しむ県民参加型の体験に様々チャレンジしている。





酒田市

廃棄されたシートベルト、エアバッグを利活用して 海の生きもの増殖と要介護者の防災用品を製作する事業

特定非営利活動法人 **みなと研究会** [マップ番号: ⑤]

山形県で酒田市が生ゴミの排出量が一番多い地域であることが問題になっています。

NPO法人 庄内海浜美化ボランティアを設立、ごみゼロやまがた推進県民会議の一員として何とかしなければと考えました。

カキが美味しく育つのは、海からの栄養だけではなく山や里からの有能な栄養が川によって海に注がれるからです。

カキ殻を燃焼処理するには多量の化石燃料が使われCO₂が発生します。そこで、みなと研究会ではカキ小屋から発生するカキ殻をゴミとしないで、有効な資源として5~7年かけて風化させ肥料を製造して又、美味しい農作物を頂く為に山や里に土壌改良剤として戻すことを展開しています。

温暖化防止、循環型社会の構築形成を考え、農業法人や子ども達にも分かりやすい「山形環境学習物語」の紙芝居を製作しました。カキ小屋で子ども、親御さん達が焼きガキを食べながらカキ殻土壌改良剤による出前講座、紙芝居をSDGsも絡ませながら楽しんでおります。





山形市

脱炭素社会を実現する 『木造都市®』づくり

株式会社シェルター [マップ番号: ⑥]

日本は国土の約7割が森林であり、その内約4割が人工林、さらにその半数が伐採期を迎えており、森林蓄積は年々増加している。当社は国産材を活用して都市に大規模木造建築や中高層木造ビルをつくる『木造都市』づくりに取り組み、全国各地で実績をあげている。

木造は鉄筋コンクリート造や鉄骨造と比較し建設・製造時のCO₂排出量が少ない。断熱・調湿性能にも優れ、冷暖房費等のエネルギー消費も抑えられる。

CO₂吸収力が衰えた成熟木で建物をつくり、都市にCO₂を大量かつ長期にわたって固定化。伐採後に植林し森林のCO₂吸収力を旺盛にすることで、森林の健全化と脱炭素・カーボンニュートラル社会の実現に繋がる。最大のCO₂排出エリアである都市が、木造都市づくりによりCO₂を貯蔵する新たな役割を担う。

都市の大規模・中高層建築の木造化で木材需要を拡大させ、地方から都市へのサプライチェーンを太くし、林業・関連産業の活性化、地域雇用の増大に寄与する。





山形市

雪と温泉で発電

山形県立山形東高等学校 探究部(雪と温泉で発電チーム) [マップ番号: ⑦]

冬場にある多くの雪と地域に根ざす温泉施設をペルチェ素子を利用することで結びつけ、二酸化炭素排出量の削減と地域活性を目指します。

ペルチェ素子とは片面ずつに温度差を作ることで、電力を生成できるものです。温泉の廃湯にペルチェ素子を用いた装置を接触させ、上から降る雪を溶かしつつ発電します。この装置は騒音や振動がないため、温泉の雰囲気壊さずに使用できることが特徴です。また、すでに尾花沢市にある温泉施設と連携を取っており、発電した電力の一部を施設内に還元することも目標としています。



山形市

「カーボンニュートラル」入門セミナー

山形市環境課 [マップ番号: ⑧]

山形市では2050年に温室効果ガス又は二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を表明している。市全体としてカーボンニュートラルに取り組むために職員向けのセミナーを開催し、地方創生の推進に係る包括連携協定を締結している「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」にご協力いただき、株式会社ふるサポの代表取締役である中島氏を講師としてお招きした。

セミナー後、職員の理解が非常に深まり、カーボンニュートラルの取り組みの必要性を感じてもらえるものとなった。



山形市

環境や省エネルギーに配慮した取り組み

山形市消防本部 [マップ番号: ⑨]

西消防署本署の庁舎は、敷地内に緑地を確保するとともに、庁舎建物南側壁面上部にソーラーパネルを設置することで、温室効果ガス排出量の削減に努めています。



上山市

親子で学ぼう!エネルギー回収施設見学とエコ工作&交通安全教室

上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ⑩]

このイベントは市と上山市地球温暖化対策地域協議会、上山市交通安全推進協議会の共催事業で実施しており、市内の小学生とその保護者を対象にエネルギー回収施設（川口）の見学とエコ工作をとした環境保全、地球温暖化防止への啓発を目的として実施しております。

2022年度で4回目の開催となり、併せて交通安全教室をおこなうことで、親子で楽しく学ぶ機会を提供しています。2022年度は33名（小学生16名、保護者等17名）が参加されました。



天童市

親子ふれあい環境教室

天童市 [マップ番号: ⑪]

コロナ禍を除き例年開催してきた親子向けの環境教室を令和5年3月に実施しました。

「気候変動かるた」やごみ分別体験を行い、地球温暖化に起因する気候変動の現状やごみの分別・リサイクルについて、ゲーム感覚で楽しみながら、環境のために何ができるのかを親子で考えてもらうきっかけとなりました。



天童市

天童市太陽光発電システム設置支援事業費補助金

天童市 [マップ番号: ⑫]

地球温暖化の防止に寄与するため、太陽光発電システムを新たに設置する個人又は事業者に対し補助金を交付しています。太陽光発電設備と併せて設置する場合、蓄電池設備及びV2H設備も補助対象となります。

また、木質バイオマスを燃料とするペレットストーブ等の暖房機の設置にも補助金を交付しています。

各補助金額（上限）は以下のとおりです。

- 太陽光発電設備：120,000円
- 蓄電池設備：100,000円
- V2H設備：100,000円
- ペレットストーブ等：100,000円



天童市

キャンドルナイト in てんどう2022

天童市地球温暖化対策協議会 [マップ番号: ⑬]

令和4年12月17日(土)に第16回目のキャンドルナイトを開催しました。

「電気を消してスローな夜を」を合言葉に、市内の寺院などから譲り受けた廃ろうそくを再利用したキャンドルや、太陽光で発電した電力を使ったイルミネーションを天童駅前広場に設置しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小しての開催となりましたが、幻想的な雰囲気の中、地球温暖化防止や日頃のライフスタイルについて見つめ直す機会となりました。



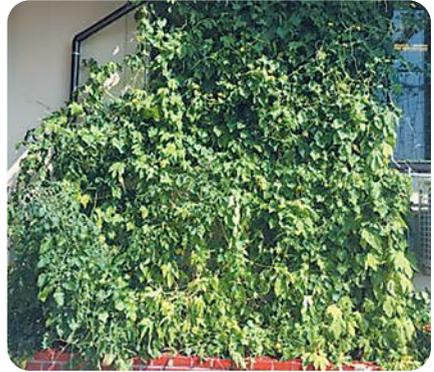
村山市

公共施設グリーンカーテン設置事業

村山市 [マップ番号: ⑭]

夏季の省エネと地球温暖化防止のため、公共施設のグリーンカーテン設置に取り組んでいます。

グリーンカーテンによって直射日光が遮られ、エアコンの設定温度を抑えることができました。また、窓辺の緑が職員や児童に涼しさを提供してくれました。



村山市

太陽光発電システム等設置補助金

村山市 [マップ番号: ⑮]

再生可能エネルギーの普及促進を図るため、太陽光発電システム、蓄電池を設置する個人及び事業者に対し、補助金を交付しています。補助金額は以下のとおりです。

- 太陽光発電システム：1kW当たり30,000円（4kW上限（法人は10kW未満上限））
- 蓄電池：補助対象経費の10分の1（10万円上限）



村山市

木質バイオマス利用拡大支援事業

村山市 [マップ番号: ⑯]

再生可能エネルギーの普及促進を図るため、木質バイオマス燃焼機器（ペレットストーブ、薪ストーブ等）を設置する個人及び事業者に対し、補助金を交付しています。補助金額は補助対象経費の3分の1（10万円上限）です。



東根市

環境ISOの取り組み

東根市 [マップ番号: ⑰]

東根市は、平成13年10月に山形県内の自治体で初めてISO 14001の認証を受け、現在もその認証を唯一継続しています。市が環境ISOの認証を受けた事をきっかけに、地域・学校・家庭など身近なところで環境保全意識が広がっています。

令和2年1月31日には、「ゼロカーボンシティ」の表明を県内自治体に先駆けて行い、昨年度には、2050年カーボンニュートラル実現に向けたロードマップとなる「地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

今後も、環境ISOの取り組みを積極的に行う事で、自然豊かな住みよい環境を守り、次代に継承していきたいと思ひます。



東根市

環境週間ひがしね

東根市 [マップ番号: ⑱]

例年11月中旬に「環境週間ひがしね」というイベントを開催しています。市民、事業所、行政が一体となって環境問題に取り組むことを目的に、平成17年度から実施しています。

令和5年度は、カーボンニュートラルフォトコンテストの応募作品とカーボンニュートラルポスターコンクールの応募作品、市内各小中学校の環境保全活動の紹介パネルを展示いたしました。



尾花沢市

尾花沢市再生可能エネルギー導入事業費補助金

尾花沢市 [マップ番号: ⑲]

尾花沢市では、2050年のゼロカーボンシティの実現に向けて再生可能エネルギー設備の導入推進を積極的に行っており、設備導入に対する補助金を交付しています。特に、夏は太陽光発電設備、冬は木質バイオマス燃焼機器利用を推進するため、両設備の導入となる場合は上限額を通常よりも引き上げるなど、県内でもトップクラスの補助を行っています。



河北町

環境ポスターコンクールの開催

河北町役場 [マップ番号: ㉔]

ポスターの作成を通じて、児童の環境保全、環境美化及びリサイクルに対する意識を高めるとともに、将来にわたっての地球環境の保全のための一助としました。

また、コンクール応募作品は町内に掲示し、環境保全の意識改革のため広く町民に周知しました。

さらに、最優秀作品は、環境問題啓発ポスターとして、町内全地区及び町の施設、各学校などに掲示しました。



河北町

再生可能エネルギー設備及び省エネルギー設備導入事業費補助事業

河北町役場 [マップ番号: ㉕]

地球温暖化防止のため、一般家庭でも省エネや再生可能エネルギーの利用が求められており、河北町では平成23年度から太陽光発電システム設置費用の補助制度を設けました。平成27年度から町内の事業所への設置にも対象を拡大し、さらに、令和2年度からは設置場所について敷地内の付属建築物及び土地、令和4年度からは太陽光発電設備に接続する蓄電池設備にも補助を拡大しています。

令和5年度からは木質バイオマス燃料機器の設置・断熱窓へのリフォームも補助対象としています。



河北町

生ごみ処理機購入設置事業補助事業

河北町役場 [マップ番号: ㉖]

地球温暖化防止のため、一般家庭でもごみ減量の役割が求められており、河北町では一般家庭から排出される生ごみの減量化と堆肥化による再生利用を促進するために、電気式生ごみ処理機、コンポスト容器、生ごみ密閉式処理容器の購入に対し補助金を交付しています。



酒田市

緑のカーテン

酒田市 [マップ番号: ㉓]

緑のカーテンは、つるが伸びる植物を育てて壁や窓をカーテンのように覆うことで、夏の暑さを和らげようとするものです。室内温度の上昇を防ぐことでエアコンなどの使用を控え、エネルギー消費を減らすことにつながります。簡単にできる省エネ・地球温暖化対策として、市役所では平成20年度から取り組み、平成26年度からは、より多くの市民や事業所の方からも取り組んでいただくためにゴーヤの種と育て方の手引を無料で配布。令和5年度は、市民や事業者、公共施設に約10,000粒の種を配布しました。



三川町

廃食用油（植物性）の集団回収

三川町、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ㉔]

平成21年度から、各家庭の廃食用油（植物性）を各町内会で設置した回収ボックスにより回収しています。

各町内会から回収された廃食用油は、事業所から回収された廃食用油とともに鶴岡市内の民間工場でバイオディーゼル燃料（BDF）にリサイクルされています。そのことにより、ごみ総量の減量が図られるとともに、町民の環境保全に対する意識啓発等に繋がっています。

なお、令和4年度は、各町内会から596リットルの廃食用油を回収しました。



三川町

住民参加型「空き缶回収事業」

三川町、各小学校、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ㉕]

各家庭から排出される空き缶を各町内会が設置した回収ボックスで分別回収することにより、ごみ総量の減量とCO₂の削減、環境保全の意識啓発を図りました。令和4年度は、アルミ缶が3.4 t、スチール缶が1.2 t、合計で4.6 t回収しました。

また、町立横山小学校、東郷小学校、押切小学校の3小学校で実施している空き缶回収は、令和4年度にアルミ缶とスチール缶合計0.4 tを回収しました。



三川町

町内会等集団資源回収、資源リサイクルステーション、資源ポストによる資源リサイクルの推進

三川町、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ⑳]

各家庭から排出される資源ごみについて、各町内会等による集団資源回収、町公民館駐車場に設置した資源リサイクルステーションと資源ポストで回収することにより、ごみ総量の減量とCO₂の削減、資源リサイクルの意識啓発を図りました。

令和4年度は、集団資源回収を25町内会で延べ60回実施し、資源リサイクルステーション及び資源ポストを51日開所しました。

その結果、集団資源回収では計127t、資源リサイクルステーションでは計71t、資源ポストでは計6t、使用済小型家電は0.6t、合計で205tの資源ごみを回収しました。



三川町

町民へのアサガオ種の配付及び公共施設、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置

三川町、みかわ保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ㉑]

希望する町民へアサガオ種の無料配付（令和5年度は71世帯）及び公共施設等へのグリーンカーテンの設置（令和5年度は、役場等の公共施設3ヶ所、保育園・幼稚園1ヶ所の計4ヶ所に計38プランター）を行いました。

町民にグリーンカーテンの設置を奨励するとともに、公共施設等へグリーンカーテンを設置し、室内温度の上昇防止によるエアコン等の稼働抑制が図られ、CO₂の削減、地球温暖化防止の意識啓発に繋がっています。



三川町

住宅用太陽光発電システム設置補助

三川町 [マップ番号: ㉒]

一般家庭での省エネ、新エネルギーの導入を積極的に進めるため、平成26年度より太陽光発電システム設置費用の補助を行っています。

町の補助金の額は、1kWあたり3万円（上限12万円）です。

令和4年度の補助金交付件数は6件で、太陽光発電設備最大出力合計では43.475kWでした。



白鷹町

ゼロカーボンシティ宣言後の取り組み

白鷹町 [マップ番号: ㊸]

白鷹町では、頻発する災害を未然に防ぐとともに持続可能なまちづくりを目指すため、令和3年にゼロカーボンシティ宣言を行い、「白鷹町地球温暖化対策実行計画（区域施策編、事務事業編）」を、令和4年度には「第3次白鷹町環境基本計画」、「第2次白鷹町エネルギー計画」を策定しました。

令和5年度はグリーンカーテン設置事業の拡大、高い省エネルギー性能の住宅を新築する場合の支援を新規に実施。再生可能エネルギー設備の導入を行う際の支援については継続実施しています。



飯豊町

環境に優しいまちづくりの推進 - 再生可能エネルギーによる域内循環社会の構築 -

飯豊町 [マップ番号: ㊹]

山林面積が町面積の約84%を占めることから、豊富に存在する森林資源を活用したペレットストーブの導入、木質チップを活用した熱供給システムの構築を行っています。また、畜産が盛んな町として、家畜排せつ物を利用したバイオガス発電所もっており、環境に優しいクリーンなエネルギーの発電をしています。

なお、住宅についても、県の「やまがた健康住宅」と連携した「飯豊型エコハウス」を推進し、森林資源の活用とエネルギー消費の削減を実現しながら、心地良い「いいでの暮らし」を提案しています。本町は、SDGs未来都市に選定され、気候非常事態宣言、ゼロカーボンシティ宣言を行い、持続可能なまちづくりを進めています。



遊佐町

子ども省エネ体験教室「石けんづくり教室」

JA庄内みどり遊佐女性部「石けん研究会」 [マップ番号: ㊺]

「石けん研究会」は、合成洗剤による河川汚染対策として、長年「石けん運動」に取り組んできた。現在は、学校給食調理現場の廃油を回収し、リサイクル石けんの原料として活用している。

こうした取り組みを次世代に伝えるために、町の地球温暖化対策地域協議会「エコすまいる・ゆざ」と連携し、小学生の親子を対象に、「石けんづくり教室」を毎年開催している。令和4年度は、子ども13名、大人16名が参加し、石けんの作り方や効果について、楽しく学習した。



高島町

GHG排出量(scope 1~3)検証による地球温暖化防止への取組み

ASEジャパン株式会社 [マップ番号: ③2]

企業自らが排出する直接排出 (Scope1)、電力などのエネルギー調達に伴う間接排出 (Scope2) の算出から行い、今年からはバリューチェーンにおける他社による間接的排出 (Scope3) 排出量算定を併せて実施しました。

算出に当たっては排出係数、使用量の管理と様々ですが、環境担当部門だけが精一杯行っても、なかなか全従業員まで浸透はしません。製品の輸送、従業員の通勤・出張などによる排出量を算定し啓蒙することで、ISO14001にもあるように全従業員の参加につながります。



米沢市

家庭で出来るエコアイデアを募集・表彰する「エコアクション大賞」を実施

株式会社イービーエム [マップ番号: ③3]

従業員の環境意識を高める取組として、環境コミュニケーションレポート「エコロジー」を定期的に発行し、職場へ配布しております。山形県地球温暖化防止活動推進センター主催の「家庭のアクション」に参加することで、昨年度は期間中14,927kg-CO₂削減効果があったと推算されます。

より家庭への環境意識を高めるために、従業員から家庭で出来るエコアイデアを募集し、表彰する「エコアクション大賞」を平成30年から行っております。令和4年度は27件のアイデアが寄せられました。受賞したアイデアは、先述の「エコロジー」で発表するとともに、社内イベントで表彰式を行っています。



寒河江市

使用済み食品トレーの回収と選別・リサイクル

株式会社エフピコ [マップ番号: ③4]

使用済トレーの回収を1990年から現在までの33年間継続して行い、回収したトレーをリサイクルし、再びエコトレーを製造、販売しています。エコトレーは原油から新しく作るトレーと比較するとCO₂排出量が30%削減となるトレーです。

エフピコのリサイクルは、消費者がトレーを持ってきてから始まり、山形県内のスーパー159店舗から使用済トレーを回収しています。山形県寒河江市に、食品容器の製造・配送する工場と使用済トレーを選別する山形選別センターがあり、令和4年度は約881tの使用済発泡トレーを回収しました。



酒田市

風力発電事業を通じた環境保全活動

加藤総業株式会社 [マップ番号: ㉔]

地域の環境特性である風を活かす風力発電事業に参入し、現在では大型風車が20基稼働しています。総発電量は年間約92,000MWh、CO₂換算で年間約42,600トンの削減に繋がっているだけでなく、発電場所である酒田市・遊佐町・庄内町に、発電事業収益の一部から環境保全等を目的とした寄付をさせていただいております。

酒田市では全社員で海岸の清掃活動を実施しており、カーボンニュートラル社会の実現、SDGsに貢献しています。今後も地域に根差した地元企業として地域社会の進歩発展に貢献し続けます。



山形市

女性用事務服の無料回収プロジェクト

北日本白衣山形株式会社 [マップ番号: ㉔]

事務服のデッドストックを対象に、コスト削減と環境負荷削減につなげる提案として、事務服の無料回収を行い、ゴミとしてではなく資源として、リフォーム・クリーニングして手ごろな価格で販売しています。

モデルチェンジなどで不用となった事務服は通常、産業廃棄物として費用をかけて廃棄されます。それを無料で回収しリユースします。また、ダメージの大きなものはウエス加工したり、部材を取ったりした後、サーマルリサイクルされます。

本活動を、SDGs17の目標のうち「12 つくる責任つかう責任」の取組と捉え、制服・ユニフォームを販売する企業として価値ある資源の循環を支援します。



長井市

エコアクション21を中心とした環境活動

有限会社三立 [マップ番号: ㉔]

エコアクション21の活動は14年目に入ります。全エネルギーからの二酸化炭素排出量は前期に比べ約469kg-CO₂、活動開始期に比べると11,041kg-CO₂の削減となりました。社外の活動では周辺地域での定期的な清掃奉仕活動を積極的に行っております。社内では毎年環境標語の募集と表彰を行っており、今年で10年目となります。社内向けには、環境情報誌「三立環境通信」を発行しており全社員への情報共有と情報伝達を図っています。



酒田市

庄内エコ米プロジェクト

株式会社トー屋 [マップ番号: ③⑧]

世の中の流れもあり、それ以前は全て焼却していたゴミを平成26年から「生ごみ」と「可燃一般ごみ」に分別し、外部委託により肥料化を進めてきました。この有機肥料を使い、鶴岡・藤島の農家グループが環境に優しい循環型の農法で米作等を行い、平成30年秋から販売、リサイクルシステムを構築しました。

また、令和4年2月より、庄内エコ米（はえぬき）を使用した日本酒「純米大吟醸1018」を造って販売しています。

令和5年3月からは、みずほ通り店で自家消費型の太陽光発電532枚（約200kW）を開始。年間約120トンのCO₂削減を見込んでいます。



長井市

資源削減の取り組み

株式会社マツキコーポレーション [マップ番号: ③⑨]

- 来訪者向けにアイドリングストップの看板設置
- ISO14001活動の一環として、各部門ごとに燃料消費の年間目標を立て削減、向上に取り組んでいる
- 各車両の運行記録簿に燃費計算項目を作り管理している
- 四半期ごとに燃料消費量をグラフ化している
- 資源削減のため、なるべくペーパーレス化を意識した取り組み



東根市

ジオパークを満喫 in 遊佐町 ～ 初級編 ～

山形中央観光株式会社 [マップ番号: ④⑩]

遊佐町の湧き水や自然体験ができる1泊2日のツアーを行った。烏海山の伏流水が湧き出る釜礪での海水浴や、希少なカジカが生息する牛渡川での川遊び等、五感を使った体験は、長らくコロナ禍で制限された学校生活を送る子供たちにとって、とても新鮮だった。生活の基盤ともなる水は、いったいどこからくるのか、その根源に触れ、人と自然が共生していくこと、限りある資源の使い方について今一度見つめ直すきっかけを作ることができた。



東根市

環境製品の開発と普及活動および太陽光発電事業

株式会社山本製作所 [マップ番号: ④]

昨年、中小企業優秀新技術・新製品賞「優秀賞」「産学官連携賞」「環境貢献特別賞」の三賞を受賞したプラスチック材質判別装置「ぶらしる」は、リサイクルの現場で欠かせない材質判別業務を、誰でも・簡単に・同じ基準で行うことを可能にしました。

木質ペレットストーブは、間伐材など未利用材から生まれた木質ペレットが燃料。敷地内の太陽光発電設備は1.9メガワットの発電量があり、“エネルギー”をつくる活動も行っています。



令和5年10月14日「エコカップやまがた2023」活動事例発表会の様子

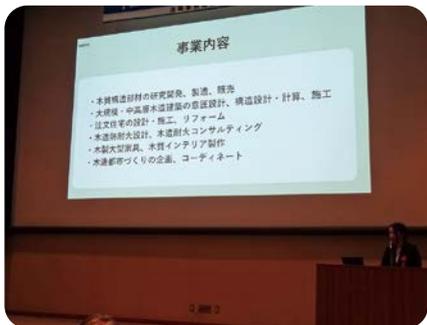
○発表の様子



農事法人ドメーヌ楽酒楽粋の発表



NPO法人みなと研究会の発表



(株)シェルターの発表

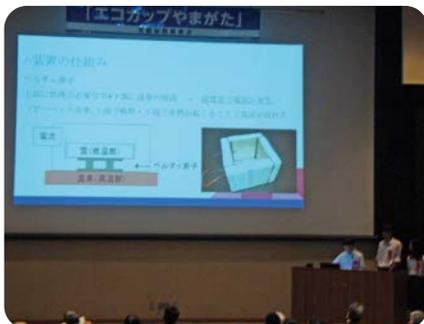


(株)ネットヨタ山形の発表

令和5年10月14日「エコカップやまがた2023」活動事例発表会の様子



山形県立工業高校の発表



山形県立山形東高校の発表

○佐藤委員長の総評・表彰式の様子



過去の事例は「エコカップやまがた」
ホームページよりご覧ください。

<https://eny.jp/eco-cup/index2023.html>

エコカップやまがた

検索

山形市

～ 2050年カーボンニュートラルの実現に向け ～

NPO法人山形県自動車公益センター

自動車業界は「100年に一度の大変革期」のなか、2050年カーボンニュートラル実現に向け、あらゆる可能性を見出すべく、多角的な視点のもと、自動車関連に限らず異業種との係わりを持つことにより、新たな技術革新を求め、互いに切磋琢磨し、各種施策を推進して参ることは必須の状況であります。

私たち「NPO法人山形県自動車公益センター」は、より多くの皆様へその必要性を伝え、より良い選択肢を示すことは絶対的の使命であり、さまざまな取り組み自体が私たち自身の生活にも直接係わり、生活の質の向上を高める（心身ともに健康であること／充足感など）ことは、結果として相乗効果を生み出し、多くの目標達成に繋がることから、私たち自身、できることから自動車業界全体に課せられた使命を果たせるよう、日々活動を行っております。

2023年は、東京モーターショー改め、4年振りに「ジャパンモビリティショー2023」が開催され、そう遠くない未来のモビリティ社会を感じた方も多かったのではないのでしょうか。私たちにできること、未来に生きる子どもたちに「より環境・人に優しい山形」を継承できるよう努めて参ります。



【NPO法人 山形県自動車公益センター】

<http://www.yauto-center.net/>

【(株)山形県自動車販売店リサイクルセンター】

<http://www.yauto-rc.co.jp/>

【(一社)日本自動車販売協会連合会山形県支部】

<http://www.yamagata-jada.jp/>

山形市

山形県環境保全協議会の活動紹介

山形県環境保全協議会

山形県環境保全協議会は、経済と環境の両立の理念に立ち、県内の企業が協力しながら、企業活動のあらゆる分野に環境保全の考えを取り込み、企業・事業者側から快適な地域環境を創造することを目的に平成5年3月に設立されました。現在、205事業者が加入しています。主な活動は講演会、視察研修会の開催、表彰事業、社会貢献活動などを実施しています。社会貢献活動では、廃プラスチック類による海洋汚染やマイクロプラスチック問題を考える機会として「庄内海岸のクリーンアップ活動」を令和3年度から開催しています。また、「金峯山森林整備活動」を平成23年度から開催し、健全な森林育成に貢献し、森林吸収源対策につなげたいと考えています。2050年カーボンニュートラル社会の実現のため、当協議会としても積極的に取組んで参ります。



視察研修会の様子



「令和5年度山形県環境保全推進賞」表彰式の様子



庄内海岸のクリーンアップ活動の様子



金峯山森林整備活動の様子

過去のエコカップやまがた 大賞受賞団体



2008年度

山形県立置賜農業高等学校（川西町）
「MOTTAINAIプロジェクト」



2009年度

山形県立東根工業高等学校（東根市）
「ものづくりプロジェクト～手作り太陽電池パネルから広がる世界のCO₂削減～」



2010年度

港屋商事株式会社（河北町）
「古紙回収を通じての環境保護活動」



2011年度

山形県立米沢工業高等学校（米沢市）
「米エゼロエミッションプロジェクト」



2012年度

山形県立山形工業高等学校 環境システム研究会（山形市）
「リサイクルDEボランティア」



2013年度

山形県立東根工業高等学校（東根市）
「続ける手作り太陽電池パネルと資源の有効活用～持続可能なまちづくりのために～」



2014年度

株式会社滝の湯ホテル（天童市）
「人と環境に優しい宿づくり」



2015年度

庄内町地球温暖化対策地域協議会（庄内町）
「庄内町町民節電所」事業



2016年度

南陽市（南陽市）
「地域材を活用した木造公共施設（南陽市文化会館）」



2017年度

東根市（東根市）
「環境ISOの取組」



2018年度

みちのく屋台こんにやく道場（山形市）
「やまがた「生ごみやさいクル」で就労支援」



2019年度

ドリームやまがた里山プロジェクト（県内全域）
「自動車部品のリサイクル活動を通じた海洋ゴミ削減と安全意識向上事業」



2020年度

ドリームやまがた里山プロジェクト（県内全域）
「自動車の廃材を活用したバリアフリービーチの構築」



2021年度

東北おひさま発電株式会社（飯豊町）
「バイオガス発電施設を中心としたリサイクルシステムの確立に向けた取り組み」



2022年度

株式会社トー屋（酒田市）
「庄内エコ米プロジェクト」

温暖化防止活動事例収集・発信事業 「エコカップ やまがた2023」 ～カーボンニュートルやまがたを目指して～ 活動事例集

【製作（主催）】

「エコカップ やまがた2023」実行委員会

【共 催】

NPO法人山形県自動車公益センター、山形県環境保全協議会

【後 援】

山形県、山形県教育委員会

【事務局】

山形県地球温暖化防止活動推進センター

【発行日】

令和6年2月17日



エコペンは、山形県地球温暖化防止活動推進センターのマスコットキャラクターです。

【本冊子についての連絡・問合せ先】

山形県地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 環境ネットやまがた)

〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37

TEL 023-679-3340 FAX 023-679-3389

E-mail eny@chive.ocn.ne.jp ホームページ <https://eny.jp>

※各団体の連絡先は、事務局（山形県地球温暖化防止活動推進センター）までお問い合わせください。

再生紙を使用しています。



環境保護のため、ベジタブルインキを使用しています。